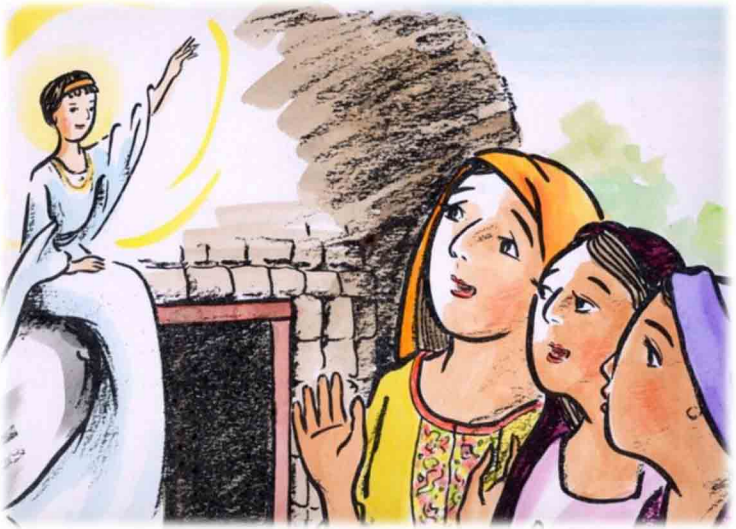
続き

弟子達は、イエスさまのおからだをほら穴のお墓に入れ、入り口を大きな石でふさぎました。何人かの女の人たちは、泣きながらそれを見守りました。

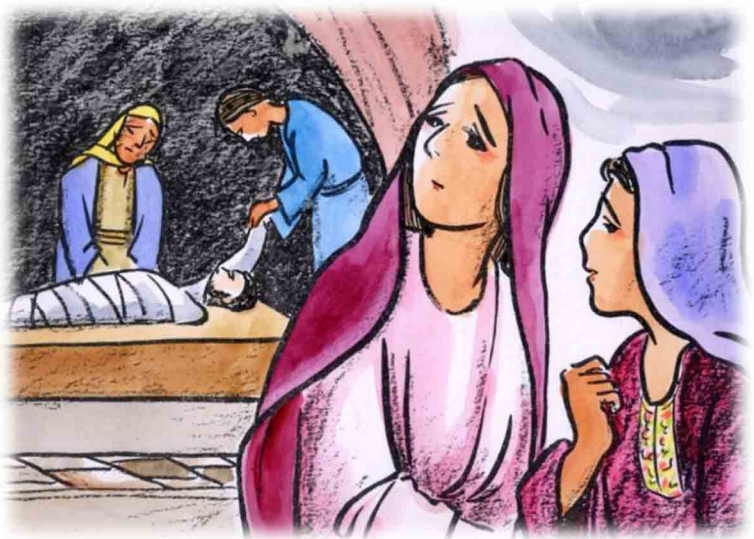
その夜、家に帰った女の人たちの心は、沈みこんでいました。

「わたしたちが天国に入れるように、心をきれいにしてくださるのは、イエスさまだと信じていたのに…。死んでしまったイエスさまは、もう何もできないのよ。」

でも、もう一度お墓へ行きたくなりました。それで、次の朝、そう、三日目の朝、女の人たちがお墓に行った時、ゴーッ、ドドド、グラッグラッ。地震です。



輝く天使が、天からおりてきて、お墓の入り口の大きな石を、ゴロンと転がして、その上に座ったのです。



「おそれてはいけません。イエスさまは、ここにはおられません。よみがえりなさいました！」

見ると、お墓はからっぽです！

恐ろしさと嬉しさで、おろおろしながら、弟子達に知らせに行く途中、

「おはよう。」

すっと、目の前にイエスさまが、お立ちになりました！やさしいお顔、輝くお姿。女の人たちは、嬉しくて、嬉しくて、ひれ伏して、イエスさまを礼拝しました。イエスさまは、ほんとうによみがえられたのです！

心をきれいにする救い主イエスさまは、今も生きて、あなたのそばにおられます。

「わたしは、よみがえりです。いのちです。わたしを信じる者は、死んでも生きるのです。」（ヨハネ　十一の二十五）